

●日本語を母語としない親を持つ子どもたちへの支援事業

【団体：坂戸地区更生保護女性会】

- 委員：参加者が当初の見込みより少なかったのか。
- 団体：残念ながら少なかった。当初、実施場所に近い桜小学校からインターナショナルアシスト事業を受けている児童が多く、レク寺子屋の学習支援が近くであればとの話があり、今回の事業を立ち上げたが、実際は児童とのマッチングが上手くいかなかった。次回は、坂戸小学校などにも範囲を広げていければ、参加者が増えると思った。
- 委員：市内に外国人は約3,000人いる。今後、ますます増加すると思われる。協力団体が多いので、参加者が増えても対応できる点は良いと思う。レク寺子屋など他団体と連携して、活動を続けてもらいたい。
- 団体：市内の日本語教室と関わりを持ったことで、学習支援のノウハウを教えてもらった。学習支援の前に地域の人とのふれあいがあれば、気軽に参加してもらえるのではないかと感じた。また、今後は、様々な団体の協力も得ながら、外国人の病院受診や手続き等の支援を行っていきたいと考えている。
- 委員：市内には、能力のある定年を迎えた人材が多くいると思われるので、その方々の力も活かして、活動してもらいたい。